

白塚ケアサービスセンターシルバーケア

豊壽園所属のリーダー職の方に

右記①～③の質問をお聞きました。

① 所属事業所ウリ

② 今後の目標

③ 休日の過ごし方／特技



白塚訪問介護ステーション
上級リーダー
山崎 由香理

① チームワークの良さ、人への思いやりが強く団結力があり、スタッフ間での報告、連絡、相談が密であり一つの目標に向かって足並みが揃っていることです。
自立支援の実施によりご利用者との距離感が近くなり有意義なサービスの提供ができます。

② 自立支援の実施が難しい事であり、どのように行っていくか？事業所内で何度も相談を行い訪問させていただいていますが、今後もよりよいサービスをご利用者に提供できるようサービスの質の維持、向上に努めれるようチーム一丸となり頑張っていきたいです。

③ おいしいご飯を食べに行ったり、体のメンテナンスをしています。
／数字が好きすぎて、買い物などでポイントを貯めること、またそれを活用することが特技です。



白塚通所介護センター
リーダー
大川 恭平

① リラックス、リハビリ、リフレッシュを通して五感を大切にご利用者にとって健康的で活気あるプログラムと癒しの空間を提供します。それに加えて令和3年7月よりLOVOTを導入し白塚の3つの Re（アールイー）リーチアウト（手を差し伸べたくなる存在）、リピート（また逢いたくなる）、リカバリー（こころの回復、社会参加）をウリとしています。

② 引き続き、地域の皆様に頼りにして頂ける施設を目指していきます。

③ 銭湯でゆっくりくつろぐことです
／横になれるスペースがあればどこでも寝れる事です。



洗心

ICT と人の共創で広げる
笑顔の輪



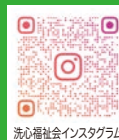
- p2. 「TEAM 白塚」の取り組み ～地域に笑顔と安心を～
- p3. シームレスなサービスをお届けします
- p4. より良い暮らしを支える「特定相談支援」
／誰もが安心できる支え合いの場「共生型サービス」
- p5. 相談できるコミュニティ
- p6. グリーンプロジェクト
～サービスの質を追求めて～
- p7. ライフサポートサービス（LSS）
～住み慣れた地域で、安心の暮らしを支える～
- p8. 今、輝いているあなたにクリック



洗心福祉会ホームページ

発行 社会福祉法人 洗心福祉会 広報委員会

〒514-0831 三重県津市本町 26 番 13 号 | 059-222-7700 | <http://www.sensin.or.jp>



洗心福祉会Instagram

“TEAM 白塚”の取り組み ～ 地域に笑顔と安心を～

平素より、社会福祉法人洗心福祉会の事業運営につきまして、皆様方からのご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

私は現在、白塚ケアサービスセンターにて施設長を務めておりますが、現場のケアマネジャーとしても、日々ご利用者と直接関わらせていただいております。このように、現場と管理の両面に関わる立場から、皆さまの温かいご支援とご愛顧に、あらためて心より感謝申し上げます。

管理職として2年目を迎えるにあたり、あらためて私たちの施設が地域の中で果たしている役割の大きさ、そして地域の皆様とのつながりの尊さを、日々実感しております。私たちは、訪問介護、通所介護、居宅介護支援という3つの事業を柱とし、「ご利用者一人ひとりにとって最

も適したサービスを提供する」という理念のもと、スタッフ一同が力を合わせて取り組んでおります。

この「TEAM 白塚」という名前には、私たちが一丸となって地域福祉の向上に貢献していこうという想いが込められています。現場では、専門職としての知識や技術だけでなく、お互いを思いやる心や助け合いの精神が自然と育まれており、その姿に私は日々誇りを感じています。

ご利用者の笑顔は、私たち職員にとって何よりの原動力です。その笑顔を引き出すために、私たちは一人ひとりのニーズやご希望にしっかりと耳を傾け、きめ細やかな支援を心がけています。たとえば、令和3年7月より「LOVOT(ラボット)」という AI ロボットが、私たちのチームに加わっております。この LOVOT は、可愛

白塚ケアサービスセンター
シルバーケア豊壽園

施設長 近藤 加織

らしい仕草や温かな反応でご利用者の心を和ませ、笑顔をもたらしてくれる大切な“仲間”となっています。ロボットでありながら、人の心に寄り添い、施設に癒しの空気を運んでくれる存在です。

今後も、私たちの施設が地域にとって「なくてはならない存在」であり続けるために、職員一人ひとりが誇りと責任を持って業務にあたってまいります。ご利用者、ご家族、そして地域の皆さまに、安心と笑顔をお届けできるよう、これからも誠心誠意努めてまいります。

結びにあたり、皆さまからの変わらぬご支援とご厚情に深く感謝申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

シームレスなサービスをお届けします

白塚ケアサービスセンターでは、地域の皆さまに安心と笑顔をお届けするために、 デイサービス、ヘルパーステーション、ケアマネジャーの3つのサービスがつなぎ目のない一体となった支援を提供しています。

デイサービスでは、3つの Re(リラックス、リハビリ、リフレッシュ)サービスを通して五感を大切に、ご利用者にとって健康的で活気あるプログラムと、癒しの空間が広がり、心身ともに満ち足りる時間が流れています。

ヘルパーステーションでは、ご利用者の日常生活をより快適に過ごせるようライフサポートサービス(LSS)を展開しています。専任スタッフが丁寧に支え、安心感のある暮らしを実現しています。

そして、ケアマネジャーが中心となり、最新の ICT を活用しながら効率的で質の高い介護計画を立案しています。ご利用者やご家族との密接なコミュニケーションを重視することで、信頼の絆を築きながら最適なケアを提供しています。

この3つのサービスが途切れずに連携することで、ご利用者一人ひとりの多様なニーズに応え、地域全体の幸せと健康を支える基盤を作り上げています。白塚ケアサービスセンターはこれからも、人々の生活を豊かにするための努力を惜しまず、安心できる環境の提供を目指して参ります。



より良い暮らしを支える「特定相談支援」

三重県の特定相談支援事業所の役割は、多様な地域性を背景に、地域に根ざした柔軟かつ丁寧な支援を提供することです。当法人はSDGs（持続可能な開発目標）の理念に基づき、誰一人取り残さない共生社会の実現を目指し活動しています。三重県は北勢・中勢・南勢・伊賀・東紀州と都市部と中山間地域が混在する独自の構造を持ち、過疎化や高齢化が進行する地域も少なくありません。そのため、障がいのある方やそのご家族、さらには高齢者が必要とする情報や支援資源が不足している場合があり、計画相談を通じて適切なサービスへとつなぐ役割は非常に重要です。特に、地域によっては支援機関が限られていることから、多職種や行政との連携が欠かせません。

当法人では、相談支援専門員が本人の意思を尊重しつつ、生活の場や就労希望などに寄り添った支援計画を立案することを心掛けています。同時に、地域資源を有効活用する調整力を発揮し、障がいのある方や高齢者が安心して暮らせる地域づくりに貢献しています。

今後も、地域全体での包括的な支援体制の構築を目指し、SDGsの精神を体現する存在として、すべての世代とともに歩む未来を描きます。



誰もが安心できる支え合いの場「共生型サービス」

地域共生社会の実現は、多様な人々が支え合いながら住み慣れた地域で暮らし続けるための重要な取り組みです。当法人では、この理念を具体化するために「共生型サービス」に力を入れています。これにより、高齢者や障がい者・児が同じ場所で必要な支援を受けられる環境を提供し、住民の選択肢を広げています。現状、地域には高齢者デイサービスはあっても、障がい者向けのデイサービスが不足していることがあります。

また、障がい福祉サービスを利用中の方が65歳を迎えると、現在の事業所を利用し続けたいという希望があっても、介護保険の事業所へ移行が必要になる課題も浮き彫りです。さらに、介護と障がいの両方にまたがる相談窓口の不足や、親子と一緒に過ごせる場へのニーズも寄せられています。

当法人ではこれらの声に応えるため、共生型サービスの指定取得を進めるほか、カフェ運営などで地域住民との交流を深め、「福祉」「暮らし」「教育」が一体となる活動を推進しています。これにより、世代や背景を問わず人々が自然と関わり合い、助け合う地域社会を目指しています。この活動を通じて「共に生きる社会」を実現し、一人ひとりの意思を尊重しながら多様なニーズに応える取り組みを今後も続けていきます。私たちは、安心して暮らせる地域づくりに貢献していくことを目指しています。



相談できるコミュニティ



志摩市にある浜島地域密着型ケアセンターシルバーケア豊壽園で、5月8日に地域の皆さまを対象としたオレンジカフェ（認知症カフェ）を開催しました。オレンジカフェとは、認知症の方やその家族、地域住民などが集い、お茶を飲みながら語り合い、交流を楽しんだり、くつろいだりしていただける場になります。

今回は「認知症サポーター養成講座」のテーマでお話を進め、認知症に関する理解を深める場として、地域の方にご参加いただきました。当日は、志摩市職員より認知症についての基礎知識や、日常生活での接し方についての講話を行っていただきました。

また、日頃、事業所で行っている体操にも皆さんで取り組んでいただきました。参加者同士の交流を深めるため、フリートークの時間も設け、実際の体験談や悩みを共有する貴重な機会となりました。参加者の皆さまから「認知症に対する知識を持てた」「地域の方々との交流ができてよかった」といった声を多くいただき、有意義な時間になったことを実感しております。

今後も、オレンジカフェを通じて、地域に根ざした支援の場を提供し、認知症に対する理解を広めていきたいと考えております。



グリーンプロジェクト ～サービスの質を追い求めて～



津市高茶屋の地域総合ケアセンター内にある特別養護老人ホームシルバーケア豊壽園では、「安心・安全で感動するサービスの提供」を目指し、「グリーンプロジェクト」と題した取り組みを進めています。ご利用者がより快適で充実した毎日を過ごせるよう、中庭に芝生を敷いたり、何もなかった2階バルコニーの床を防水塗料で整備したりと、スタッフの手で環境づくりを行っています。大型のプランターラックには、季節の花々や夏野菜を植え、ご利用者が日々の園芸活動に参加できるよう工夫しています。

「お花がきれいので気持ちが明るくなる」「野菜の収穫が楽しみ」といった声もあり、自然とのふれあいを通じて、笑顔や会話が広がっています。このような活動は、身体を動かす機会を増やすだけでなく、転倒予防や睡眠の質の向上といった健康面での効果にもつながります。また、緑に囲まれた空間で過ごす時間は癒しとなり、精神的な安定を促すとともに、季節の変化を感じることで認知機能の刺激も期待できます。

今後も、ご利用者一人ひとりが自然に触れながら、心身ともに健やかに過ごせるような環境づくりに取り組んでいきます。



ライフサポートサービス (LSS) ～住み慣れた地域で、安心の暮らしを支える～

現代社会において、高齢者やそのご家族が抱える課題は多岐にわたります。仕事や家庭の事情で直接サポートが難しい場合もある中、私たちは地域社会と連携し、ご利用者一人ひとりの「自分らしく暮らしたい」という希望を叶えるために、当法人では「ライフサポートサービス」を展開しています。

ライフサポートサービスとは、介護保険の対象外となるニーズに対応する訪問型の支援サービスです。定額制で、買い物の同行やお墓参りの代行・同行、病院のお見舞い同行、さらには社会参加を促進する外出支援や見守り機能まで、幅広い場面でご利用いただけます。このサービスは遠方に住むご家族に代わり、大切な方の暮らしをしっかりとサポートします。特に注目したいのは、社会参加の促進です。外出機会を増やすことで、心身の健康維持だけでなく、新たな交流や発見が日々の生活に彩りを加えることが期待されます。また、私たちスタッフが行う安否確認や見守り支援も、ご家族に安心を提供する大切な機能です。

実際に利用していただいているご利用者からは、「頼れる存在」「心強い」といった高い評価をいただいております。その声は私たちの活動の原動力となっています。例えば、日常のお買い物を一緒に行ったり、大切な人の思い出が詰まったお墓参りをお手伝いすることで、ご利用者の笑顔を見る機会が増えました。

このサービスが提供するの、単なるサポートではありません。「家族にとっての安心」と「ご利用者の暮らしの豊かさ」を繋ぐ架け橋です。今後も地域と共に、より良いサービスの提供を目指して参ります。

暮らしをささえる
ライフサポートサービス
LIFESUPPORT SERVICE

